

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都板橋区小豆沢 2-19-8
園名	ミアヘルサ保育園ひびきあずさわ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

体の使い方を知って、バスケットを知ろう！好きになろう！

<テーマの設定理由>

広い園内のホールを活用し、プロバスケットボール選手による直接指導のもと、体を動かす楽しさや仲間と協力する喜びを体感する。広い空間で思い切り体を動かせることは、子どもたちの自信と健やかな成長に繋がる。

2. 活動スケジュール

令和7年7月29日 10時～11時

令和7年8月14日 16時～17時

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

環境設定として、バスケットゴール、バスケットボール、ゼッケンを用意

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

ストレッチ・トレーニング
ボールを持って鬼ごっこ
簡単なボールハンドリング
チームに分かれてドリブルリレー、シュート対決

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・バスケットボールを知っている子も知らない子も楽しんで活動に参加できるよう声掛けを行った。
- ・子どもたちは選手や保育者の話を聞き、意欲的に活動に参加していた。
- ・思うようにいかないことにも何度も挑戦する姿が見られた。
- ・選手から「どうしたらボールをゴールに入れられるのか?」と問われると、子どもたちから「まっすぐ投げると良さそう」「上に向かって投げないとゴールに入らないよね」という意見が出た。それを実践することでシュートが入る喜びを体感した。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちは普段の遊びとは異なるスポーツ体験に興味を示し、意欲的に参加する姿が見られた。初めは難しさを感じる様子も見られたが、繰り返し挑戦する中で動きを工夫しながら取り組む姿が見られ、主体的に活動に参加できていた。また、活動を通して、順番を待ちながら友だちを応援したり、「がんばれ」「できたね」と声を掛け合ったりする姿が見られ、友だちと気持ちを分かち合う姿や協力する姿が育まれていることに気づくことができた。活動後も遊びの中でボール遊びを楽しむ姿が見られるなど、体験が継続的な遊びへと繋がっている様子うかがえた。